

所管部長等名	建設部長 船藏 満彦
所管課・係名	街路公園課 街路係
課長名	下川 哲夫

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	街路事業：西片西宮線道路整備事業 (社会資本整備総合交付金) (地方特定)		「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	西片西宮線道路整備事業
会計区分	一般会計			
予算の事業名	西片西宮線道路整備事業(地特定)	西片西宮線道路整備事業(総合交付金)		
事業コード(大-中-小)	12 - 01 - 42	12 - 01 - 43		
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第3章 安全で快適に暮らせるまち		
	施策の大綱(節)【政策】	③暮らしを支えるまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	①便利で快適な交通基盤整備		
	具体的な施策と内容	(2)魅力ある交通環境の整備・改善		
根拠法令、要綱等	都市計画法			
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()		法令による実施義務 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 義務である <input type="radio"/> 義務ではない
事業期間	開始年度	平成20年度	終了年度	平成26年度

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を) 都市の基盤的道路施設として、主要な骨格をなし、市民生活や経済活動等における自動車歩行者交通等を円滑にするとともに、当該地区の外郭を形成する道路に連結する。	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 本路線の整備により、八代都市計画区域のまちづくりの骨格道路を形成し、JR新八代駅へのアクセス機能、八代臨港線への接続改善、新八代駅周辺整備に伴い発生する交通の円滑化、及び太田郷地区内の交通混雑の解消、日常生活の利便性、安全性の向上と一体的な道路網形成の向上を図り、沿線地域の振興発展に寄与する。
	内容 (手段、手法等)	【全体の事業計画】本路線は、太田郷地区と宮地地区を南北に縦断して国道3号と八代臨港線を結び、地区の主要幹線道路である。本事業は、当路線の内、八代臨港線から一般市道までの区間整備に取り組むもの。 ○延長 L=360m ○幅員 W=16m ○全体事業費 C=930百万円 うち、平成25年度 406,000千円、平成26年度 84,000千円 【本年度の概要】事業費：184,000千円 ・西片西宮線改築工事(側溝新設 L=130m)、・地積測量図作成業務委託、・用地取得 A=1,500㎡、建物等補償 N=5件	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	新八代駅から国道3号へ南北にアクセスする主要な幹線道路として計画され、H18.3の九州新幹線部分開業と同時に新八代駅から県道八代港線まで供用を開始した。更には、H23.3の九州新幹線全線開業後も、新八代駅から千丁方面の新規道路整備、及び当路線の整備が急務となっている。		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	133,850	73,150	188,900	412,300	91,700	0	
	事業費(直接経費)	千円	129,300	70,000	184,000	406,000	84,000	0	
	財源内訳	国・県支出金	千円	65,615	22,000	100,100	220,000	42,900	
		使用料・手数料	千円	0	0		0	0	
		市債	千円	60,500	45,600	79,700	176,700	39,000	
		その他()	千円	0	0		0	0	
	概算人件費(正規職員)	千円	4,550	3,150	4,900	6,300	7,700	0	
正規職員	従事者数	人	0.65	0.45	0.70	0.90	1.10		
	臨時職員等従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
成果指標 (もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 整備延長(事業費ベース)：(累計の事業費/全体事業費)×全体延長	事業開始から、事業費ベースでどの程度整備を行ったか換算延長での指標として設定した。 事業認可延長 L=360m	m	73	100	172	329	360	
	② 進捗率(事業費ベース)：(累計の事業費/全体事業費)×100	事業開始から、どの程度事業費ベースで進捗しているかを割合の指標として設定した。	%	20	28	48	91	100	
(記述欄)※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A A A A	(現状分析等) 本事業は、昭和46年4月に都市計画決定された街路で、太田郷地区と宮地地区を南北に縦断して県道八代港線と国道3号を結ぶ道路である。新八代駅から中心市街地へアクセス強化を図るとともに、地区内の交通渋滞を解消、都市の骨格を形成する重要な路線である。そのうち第一期として、県道八代港線から市道上片町上日置町線の交差点付近までの360mに取組んでいる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、 事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている		
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していま せんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない		
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B A	(現状分析等) 平成20年度に事業認可を取得し、鋭意事業進捗に取り組んできたが、当初事業計画より大幅に遅れている。これも事業費が莫大であることから予算の確保が困難な状況である。今後は事業費の確保に努め、早急な供用開始を図り、太田郷地区と宮地地区の渋滞解消し、地域振興につなげたい。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき		
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A A	(現状分析等) 道路構造令に準拠するとともに、最も経済的に安価な工法で施工しているため、他事業との統合や連携を検討する余地はない。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である		
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である		
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき		

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 事業期間が7年であり、現在も用地や建物等の補償を行っている。平成26年度末の全線供用に向け予算の確保に努め、種々の渋滞解消及び地域振興につなげたい。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 今後の取組として、他事業で発生した建設残土を有効利用し、構造上支障がない部分への利用し行きより一層のコスト縮減に努める。	改革改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td align="center">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度
---------	---	------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------